

2026 年 8 月 6 日

各 位

上場会社名	極東開発工業株式会社
代表者	取締役社長 布原 達也 (コード番号 7226)
問合せ先責任者	管理本部 法務広報部長 藤本 丈司 (TEL 06-6205-7826)

インドネシア第二工場竣工のお知らせ ～インドネシアにおいて特装車の生産能力を大幅に強化～

当社グループは、商用車需要が拡大しているインドネシア国内において、石炭やニッケル等のマイニング市場を中心とする多様な顧客ニーズに対応すべく、現地法人である PT. Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia の第二工場を建設しておりましたが、このたび 2026 年 7 月 23 日に竣工しましたので、下記のとおりお知らせいたします。



インドネシア第二工場建屋

1. 第二工場建設の目的

インドネシアでは、物流、インフラ整備、資源開発などを背景に商用車が幅広く利用されています。足元では国策の影響から商用車需要がさらに拡大しており、生産能力の拡大が必須となっております。

当社グループが注目しているマイニング市場では、鉱物資源などの輸送効率向上を目的として、運搬車両の大型化や多様な用途に対応できる製品へのニーズが高まっています。こうした市場環境および顧客ニーズへの対応、現地における生産能力の向上と製品ラインナップの強化を図るため、既存工場の隣接地に新たに第二工場を建設しました。

本工場の竣工により当社グループは、中期経営計画に掲げるとおり多様なニーズに対応した高品質な製品をタイムリーに提供できる体制を構築し、インドネシア市場における事業基盤の強化と海外事業のさらなる成長・拡大を目指します。



主力製品のサイドダンプトレーラ

2. インドネシア第二工場の概要

名 称	: PT. Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia
所 在 地	: インドネシア共和国 西ジャワ州プルワカルタ県ブングルサリ地区 ダングデウル村 ブキット・インダ工業団地 E1-1 号
敷地面積	: 40,130 m ²
延床面積	: 9,325 m ²
建屋構成	: 生産棟（事務所、食堂およびロッカールームを併設）
主な生産品目	: サイドダンプトレーラ、散水車、大型マイニングダンプ(40 m ³ ・45 m ³)
投資額	: 294,000 百万インドネシアルピア（約 2,734 百万円）
竣工日	: 2026 年 7 月 23 日

（※円換算額は、1 インドネシアルピア=0.0093 円の社内換算レートに基づき算出しています。）

3. 第二工場の特徴

本工場では、サイドダンプフルトレーラをはじめとした、超大型・大型のダンプボデーの製造・架装への対応と併せ、他製品の製造にも柔軟に対応できる建屋構造および生産レイアウトを採用しています。

また、製品およびシャシを保管するための十分な駐車スペースを確保するとともに、構内物流の効率性にも配慮した配置としています。

安全面では、大型重量ボデーの反転作業において、従来のスリングベルト方式ではなくロータリージグ方式を採用し、作業時の安全性向上を図っています。さらに、長尺ボデーに対応した専用のショットブラストブースおよびペイントブースを設置し、環境負荷の低減と作業環境の改善に配慮しています。



超大型サイドダンプフルトレーラ(ボデー容積：前 110 m³・後 125 m³)



20kL 散水車



小型スチールカーゴ



大型リアダンプトラック(ボデー容積：45 m³)



竣工式の様子

(写真左から)

PT. Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia
 PT. Kyokuto Indomobil Distributor Indonesia
 PT Indomobil Sukses Internasional Tbk
 当社
 当社
 PT. Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia

監査役 Willianto Husada
 代表取締役社長 Bambang Prijono
 代表取締役社長 Jusak Kertowidjojo
 代表取締役社長 布原 達也
 代表取締役専務 則光 健男
 代表取締役社長 有田 公士

4. 今後の展望

当社グループは、既存工場と第二工場との連携および生産機能の最適化を進め、サイドダンプトレーラや散水車をはじめとする製品を効率的に生産する体制を構築するとともに、事業活動を通じてインドネシアの産業および地域社会の発展に貢献してまいります。

以 上